

新学期が始まりました！

Asalaamaaleku！（アッサラームアライクム）

こんにちは。7月からの約3か月間のバカンスが終わり、10月から新学期が始まりました。

新学期が始まったこの日、学校には先生や子どもたち、そして保護者と、たくさんの方が集まっていました。久しぶりに会う先生や子どもたち。「バカンスはどうだった？」がお決まりの挨拶で、「楽しかったよ〜」「バカンスは最高だ！」という声と、「学校が始まるのが嬉しい」「もう少し休みたかったな」なんていう声もあって、夏休み明けの日本の小学校と少し似ているなど感じました。ちなみに、日本の学校のような入学式はセネガルにはありません。一年生は教室の外で、担任の先生に名前を呼ばれて教室の中に入ります。ちなみにこの学校の新一年生は全員で140人、2クラスに分かれ、一クラスは約70人です。

ここで気づいたセネガルの先生たちのすごいところ！こんなにもたくさん子どもたちがいるのに約2週間でしっかり全員の子どもの名前をおぼえていました。

まずは持ち物のかくにん！！

新学期の初め、教室の黒板には子どもたちの持ち物が書かれています。

- ・100ページのノート4冊
- ・50ページのノート3冊
- ・色鉛筆5本（緑、黄色、赤、青、茶色）
- ・フランス語の教科書
- ・アドワーズ（ミニ黒板）
- ・ペン3本（青、緑、赤）
- ・定規



また校長室や各教室の棚には、算数や理科の教科書が積み上げられていました。バカンス期間中は教科書を学校で保管し、次の学年の子どもたちが使います。しかし、数を数えてみると、人数分揃っていないものが多かったり、ほこりや砂をかぶっている教科書も見られたりします。まずは、これらを整頓するところからだなど思っているところですが、かなり時間がかかりそうです。



家までの帰り方が分からず、おねえちゃんが来るのをまつ新一年生



どこで買ったのか気になるカバン



セネガルの教科書やワークブック

今日のウォロフ語



buló(プロ)
: 青



wert(ウェート)
: 緑



Xonk(フォンク)
: 赤